

平成18年度 当初予算の概要

予算総額 805億8,661万円 前年度比 2.6%増

一般会計 348億7,000万円 前年度比 1.2%増

特別会計 387億4,609万円 前年度比 2.4%増

特別会計の内訳

特別会計名	当初予算額
国民健康保険	109億6,431万円
老人保健	134億9,220万円
介護保険	83億3,527万円
簡易水道事業	1億5,186万円
公共下水道事業	45億3,445万円
小規模下水道事業	6,673万円
港湾上屋事業	545万円
ひうち地域振興整備事業	8億 877万円
土地開発事業	168万円
小松地域交流事業	2億7,421万円
本谷温泉事業	3,362万円
住宅新築資金等貸付事業	3,928万円
畑地かん水事業	2,641万円
庄内財産区	805万円
壬生川財産区	380万円

企業会計 69億7,052万円 前年度比11.4%増

企業会計の内訳

企業会計名	当初予算額
水道事業会計	22億6,611万円
病院事業会計	47億 441万円

平成18年度の歳入は、固定資産税が減収となりますが、税制改正などの影響から個人市民税の伸びが予想され、市税収入全体では、やや増収となる見通しとなっています。しかしながら、国の「三位一体改革」による国庫補助・負担金の減額や地方交付税の削減などの影響を受け、新年度の財政環境は依然として厳しい状況にあります。

このような厳しい環境の中ではありますが、財源の積極的な確保に努めながら、限りある財源の重点的・効率的

な配分を行いまして、「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現に取り組んでいく必要があります。

このため、歳出につきましても、市民の融和・一体感を一層醸成するとともに、新市の均衡ある発展をめざす経費をはじめ、防災・地域安全対策の推進や子育て支援、福祉の充実、商工・産業の振興、雇用対策などの重要かつ緊急度の高い施策を厳選した予算編成を行っています。

- 保育サービス機能強化モデル事業 233万円
- 21世紀を担う子育て事業 639万円
- ▼保健・医療の充実
 - 特定不妊治療費助成事業 101万円
 - 運動推進事業（生活習慣病予防） 742万円
- ▼福祉の充実
 - 福祉基金事業 781万円
 - 在宅寝たきり高齢者等介護手当支給事業 2,322万円
 - 介護予防住宅改修助成事業 106万円
- ▼廃棄物処理施設の建設
 - 東部一般廃棄物最終処分場整備事業 1,036万円
- ▼環境保全
 - 環境基本計画策定事業 291万円
 - 浄化槽設置整備事業 1億5,384万円

- ▼防災対策
 - 防災士育成事業 824万円
 - 防災教育推進モデル事業 120万円
 - 風倒木処理事業 800万円
 - 地域防災計画策定事業 7,842万円
 - 自主防災組織育成事業 1,510万円



- ▼災害復旧
 - 平成16年度発生災害復旧事業 7,589万円
- ▼救急救命対策
 - AED設置事業 533万円
- ▼子育て支援
 - 放課後児童健全育成事業 1億85万円

一般会計の主な事業

- ▼西消防署の建設
 - 西消防署庁舎建設事業 9億7,764万円
- ▼新図書館の建設
 - 新図書館整備事業 4億6,139万円
- ▼公民館の建設
 - 丹原公民館建設事業 773万円
- ▼地域安全対策
 - 緊急通報システム設置事業 2,412万円
 - 国民保護計画策定事業 77万円
 - セーフティーパトロール事業 534万円
- ▼交通安全対策
 - 高齢者交通安全アドバイザー事業 719万円
 - 横断旗・旗入れ缶設置事業 90万円